

愛媛県立川之江高等学校 令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術 I
単 位 数	2 単位	学年・類型	第 1 学年・全クラス（選択）
使用教科書	新・高校生の美術 1（日本文教出版）		
補助教材等			

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。

2 学習方法

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにします。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにします。
- 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点 \ 評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	○ワークシート ○作品
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○ワークシート ○作品
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○授業態度

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業態度やワークシートの内容、作品を評価し、総合的に行います。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均して行います。

4 学習のポイント

- 人によって美術への関わり方は様々ですが、どのような生活を送っていても、どのような仕事に就いても美術を身近に意識することで、普段の何気ない毎日の中に楽しさや安らぎが感じられ、心豊かに生きていくことにつながっていきます。
- 美術と豊かに関わるためには、造形を豊かに感じ取るための多様なアンテナを持つことが必要です。普段見慣れている校庭の樹木も、よく見ると季節や天候などにより様々に表情を変え、毎日同じ情景ではありません。雨上がりに太陽の光が当たったときには、みずみずしい緑色に輝き、何とも言えない美しさを感じることがあります。そのような変化に意識を止め、美しさを感じ取るためには、造形や美術を捉える視点などを豊かにすることが必要です。
- 造形や美術を捉える視点をたくさん持っていれば、普段の生活の中で様々な造形や美術に目が留まり、心が動かされます。表現や鑑賞の活動を通して、美術に対する見方や考え方を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育んでいきましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	オリエンテーション	・絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められるようにします。 ・授業のルールや流れを確認し、美術の授業が一人一人にとって有意義で主体的な活動になるよう意識付けを図ります。
5	身近なものを描く	・身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。 ・教科書掲載作品などから工夫を読み取り、モチーフをしっかりと観察して形体と色などの特徴を捉えて、表現方法を工夫して描けるようにします。
6	風景画を描く	・身近な場所の印象などを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。
7		・形や色彩、構図の効果、空間や全体のイメージなどを捉え、絵の具の特性を生かして表します。
8		
9		
10	人を表す（立体で表す）	・人物の印象などを基に、質感や重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。 ・形や質感、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具、技法の特性を生かして表します。
11	人を表す（人物画を描く）	・人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。
12		・構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表します。
1		
2		
3	1年間の振り返り	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすか考えます。 ・1年間の振り返りを行い、学びを振り返り深めます。